

年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。ご家族の皆さんと健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、多くの皆さんにご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お陰さまで4期目の当選をさせていただきました。心より感謝申し上げます。市民の皆様の声を市政に反映し、元気で住みやすい渋川市をめざし、全力で頑張る決意です。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

具体的な施策の提案や財源の確保に対応

政府は経済対策として「アベノミクス」と言われる「財政出動・金融緩和・成長戦略」の3本の矢に続き、第2ステージとして新3本の矢「希望を生み出す強い経済・夢を紡ぐ子育て支援・安心につながる社会保障」を柱とする経済政策を発表しました。しかし、国の借金は1000兆円を超え、財政再建と子育てや社会保障の充実をどのように進めていくのか、財源を含めた具体策や課題も残されています。

本市では、「地方創生に係る人口ビジョン及び、まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「産業振興による雇用の創出」や「移住・定住の促進」、「総合的な少子化社会対策」、「活力ある安全・安心な地域づくり」を柱とした取組みを進めることとなります。今後も、具体的な施策の提案や財源の確保など、市民の目線ですっかりと対応していきます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶とします。



渋川市議会議員
しのだ 徳寿

〔後援会事務所〕
大同特殊鋼(株) 渋川工場労働組合内
TEL 0279-23-5198
FAX 0279-24-3820
ホームページ
<http://geo.t-shinochan55.com/>
篠田徳寿でも検索できます。

12月定例会が11月30日から12月10日まで開催され、慎重審議の結果、原案の通り可決されました。主な内容は次の通りです。

渋川総合病院の跡地 学校法人群馬パーパス学園へ無償で貸付

渋川総合病院跡地の活用について、特別委員会を設置し当局からの提案に対して検討が行われてきました。跡地の活用については、高等教育機関の誘致、子育て支援の拠点施設、高齢者への地域支援施設として整備することにより、地域の活性化、総合的な人口減少対策に取り組むものです。無償貸付については、学校法人群馬パーパス学園に20年間無償で貸し付けるもので、福祉専門学校として介護福祉学科及び保育学科が設置されることとなります。設置場所は、外来治療棟、病棟及び放射線治療棟の1階、2階及び3階の一部としています。有償で貸し付けた場合には、企業債の一括償還や補助金の返還、維持管理費の負担などが発生します。これらを考慮すると無償で貸し付けても有償で貸し付けた場合と変わらないと説明がされています。

今後の予定としては、平成28年1月に整備工事設計業務委託、その後、施設整備を行い、平成29年4月に専門学校の開設と子育て支援拠点施設の開設を予定しています。



子育て支援拠点予定の南棟



子供の遊び場予定のリハビリ棟

スカイテルメ渋川・ユートピア赤城 指定管理者に㈱日本水泳振興会を指定

スカイテルメ渋川及び渋川温泉スタンドの指定管理者の公募を行った結果、3法人から応募があり、候補者選考委員会において選考した結果、㈱日本水泳振興会群馬支店を選定しました。また、ユートピア赤城、赤城の湯ふれあいの家及び敷島温泉スタンドの指定管理者の公募を行った結果、2法人から応募があり、選考の結果、㈱日本水泳振興会群馬支店を選定しました。いずれも、指定期間は、平成28年4月1日から平成31年3月31日までです。

㈱日本水泳振興会は、運営能力において、施設の効果的な活用策の提案や財政基盤の安定において、高い評価を受けており、プール及び温泉施設などの指定管理施設を運営している実績を勘案し、市民の健康増進と福祉の向上が期待されます。

市民ふれあいプラザ運営事業の廃止

市民ふれあいプラザ（愛称オアシス）は、平成14年度にマイカル渋川サティの撤退を回避し、引き続き中心市街地の中核施設として存続することを目的に、店舗の一部を市が借上げ、「市民ふれあいプラザ」を開設し、事業主体をNPO法人渋川地区障害者福祉協議会に依頼してきました。市民が気軽に集い、ふれあいと憩いの場として福祉施設の製品販売、安価で飲み物を提供するふれあいコーナーや観光PR・各種イベント等の紹介を行い中心市街地の活性化に資してきました。また、障害者の社会参加及び就労に向けた場として活用されてきました。

建物所有者である渋川ショッピングプラザ（株）から、建物の老朽化、恒常的な赤字及び膨大な耐震改修費用が見込まれることから、一部店舗を除いて閉鎖する旨の通知がされました。他の場所での検討も進めましたが、同団体から障害者の就労訓練としての目的が薄れたことや運営費が厳しくなっていることから、「市民ふれあいプラザ」の運営を平成27年12月10日をもって終了したいとの申し出を受け、市民ふれあいプラザ事業を廃止するにいたしました。なお、渋川ショッピングプラザ1階で営業している「パワーセンターうおかつ」の営業期限及び渋川ショッピングプラザ建物の今後の取り扱いについては、現在確定していません。



渋川ショッピングプラザ

イルミネーション
点灯中！



渋川医療センターへのバス運行等について

渋川医療センターは平成28年4月に開院します。最寄駅であるJR渋川駅から北へ約3.1km、最も近いバス停は鯉沢バス停で約1.3kmであり、公共交通が整備されていません。

このようなことから、医療センター利用者の足を確保するため検討を進めた結果、市がバス事業者に運行を委託する形で路線バスを運行します。運行経路は、渋川駅から医療センターまでとし、バス停は渋川駅～渋川新町～渋川郵便局西～寄居町会館前～東町（新規）～白井（新規）～渋川医療センターを予定しています。運航便数については、平日10往復、土・日・祝日の往復を運航します。

既存路線の見直しとして、渋川温泉～西群馬病院線は金井住宅団地止まりとなり、渋川駅～金井住宅団地は現行13往復を8往復に減便、渋川駅～渋川温泉は現行13往復を12往復に減便します。

渋川駅～青葉台団地經由西群馬病院線については、西群馬病院閉院後の伊香保地区住民の利便性を確保するため、大日向団地を經由し原沢医院まで延伸します。延伸便数は西群馬～原沢医院4往復（全運行便数9.5往復のうち4往復を延伸）となります。

渋川総合病院へのバス運行については、5路線がJR下郷踏切から渋川総合病院に合計で22往復乗り入れていますが、医療センターの開院以降は渋川総合病院に乗り入れず、その区間を「休止」扱いとします。

空き店舗活用による

しぶかわ名産品センターの開設

地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、渋川駅周辺の空き店舗の解消を図るとともに、商業振興及び地域経済の活性化を推進するため、市が建物を借上げ開設するものです。

設置場所は、旧田村商店及び不二家跡地で名称は「しぶかわ名産品センター」、愛称は「しぶさん」と決定しました。運営主体は渋川地区物産振興協会、開設日は平成27年12月26日（土）となります。

施設改修費（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金対象経費）は、合計で406万7496円となります。

■メインデザイン

しぶかわ名産品センター
しぶさん
SHIBUSAN



H27.12.26 オープン！

参議院比例区組織内候補予定者
「しぶさん」利治氏を応援しています。

